

# ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)  
群馬県前橋市元総社町七三一五  
TEL 027・2555・3434  
FAX 027・2555・3435  
<http://www.neues-asahi.jp>

ノイエス朝日の二階会議室や応接室を合評会や打合せに利用している詩人のグループや定期的に詩誌を発行しているグループの代表の方から最新号の詩誌をいただいています。

何十年も続いている詩誌は高齢化と収支などの運営で、さぞ大変なことだと思えます。表現の多様化とともに若い世代の表現、発表の手段の変化により絵画や彫刻、工芸、写真などの公募団体の現状の厳しさと同様に急激な社会の変化に対応できない現実があります。とはいえ、反面、デジタル化の波とは正反対のアナログな部分が見直され、従来の形式に少しのアイデアを加えて新時代に対応する新しい「もの」として書いたり、作品づくりをするという顔も見せています。

そしてそれは食生活にまで受け入れられています。また、海外からの人々にとっては未知の「もの」として受け入れられていて、従来の古くなっている「もの」の本質の良さは、多面的な魅力的な要素が閉じ込められています。そして、それは何かしらの可能性を秘めているものだと信じています。

人の能力や可能性についても同じようなことがいえると思えます。未知の可能性がある子供のようにはいかたが、年齢を重ねても、その可能性は残されています。長年、生活し、築きあげてきた実人生を「こんなものか」と固定観念で閉じるのではなく、今まで歩かなかつた道に一歩踏み出してみると「あれあれ、こんな生き方もあるのか」と驚かされます。経験したことになかった入院にしても医療現場で働く人々との関わりや病院のシステム、入院してみても初めて知った知人達との関係性などハッとさせられることもあります。

料理や編物の教室。今まで付き合いのなかつた作家達との会議、展示会場で初対面の人々との出会い、買い物先でのお店の人との会話。

また、仕事にしても多種多様なものを抱え込んだ時の対処法にしても長年の経験のおかげで自分の容量にまだ少しの「ゆとり」があることを意識するようにし、少し環境を変えて「遊ぶ」時間を確保するようにしていると、いつしか次の仕事に向き合える状態になっています。

少しのストレスは必要だといわれますが、健康で心地よい毎日過ごすための少しの努力は積極的にする必要があります。

大きな悲しみや苦しみを抱えている方のことを思うと辛い毎日です。前に進みたくても進めない多くの人がいることを考えながら、毎日生活できることの大切さ、幸せであることを感謝したいと思います。

(武藤)

## ノイエス朝日〈展覧会〉のご案内

### 平野裕明展

〈企画〉

会期 〈開催中〉～十一日(日)  
午前十時～午後五時  
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

八月十二日(月)～二十三日(金)

ノイエス朝日は**休廊**しています。

(八月十二日～十八日 朝日印刷は休業です)

### 第54回 自由美術群馬展

会期 八月二十四日(土)～二十八日(水)  
午前十時～午後五時三十分

(最終日は午後五時終了)

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

### ブランチエ展

会期 八月三十一日(土)～九月三日(火)  
午前十時～午後五時

(最終日は午後五時終了)

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

### 飯出袈裟市 暮らしの挽物工芸展

〈企画〉

― 木目の美 ―

会期 九月七日(土)～十五日(日)  
午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

## 展覧会のご案内

### 麦わら屋の作家たち展

〈出品作家〉

長谷川 諒 榎本拓人 赤井俊太 篠田幸利  
落合菜津子 杉本佑太 森 雄祐 木村和豊

期間 八月十七日(土)～二十五日(日)

午前十一時～午後五時(月曜休館) 入場無料

会場 広瀬川美術館(前橋市千代田町三の三の二〇)

### シンポジウム

「共生社会を支える

障害のあるひとの表現活動を考える」

八月十八日(日) 午後二時三十分～三時三十分

会場 広瀬川美術館

定員 三十名(先着・予約不要)

多胡 宏(美術家)

前島芳隆(美術家)

コーディネーター 茂木一司(群馬大学教授)

【注意】駐車場は近隣の市営駐車場をご利用ください。

主催 特定非営利活動法人 麦わら屋

\*パンフレットは、ノイエス朝日にあります。

出勤時、家からの時間帯は、車の渋滞が長く続いています。こんな状態では一～二分待つて・・・と思うと、親切な方がほとんどで、すぐに一台分のスペースを作ってくれます。こんな朝は何ともうれい出だしの一日。

逆に駐車場から出ようとしている車には、こちらも少し待つてスペースを空けて「どうぞ」と・・・。

高齢者の車の事故が相次いでいますが、そうでなくても運転中に何でこんな所だと思うような場所で交通事故が起きています。ちよつとした不注意で思わぬ大惨事になることもあり、あの時と思つても取り返しがつかないことになりかねません。運転に自信がなくなってきたら免許証返上、交通機関を利用しての毎日の生活を考えるのが得策です。

これから暑くなります。水分補給をして熱中症にも気をつけましょう。高齢者は、室温の感覚も変化します。温度計などを設置して十分に気をつけて生活をしてください。